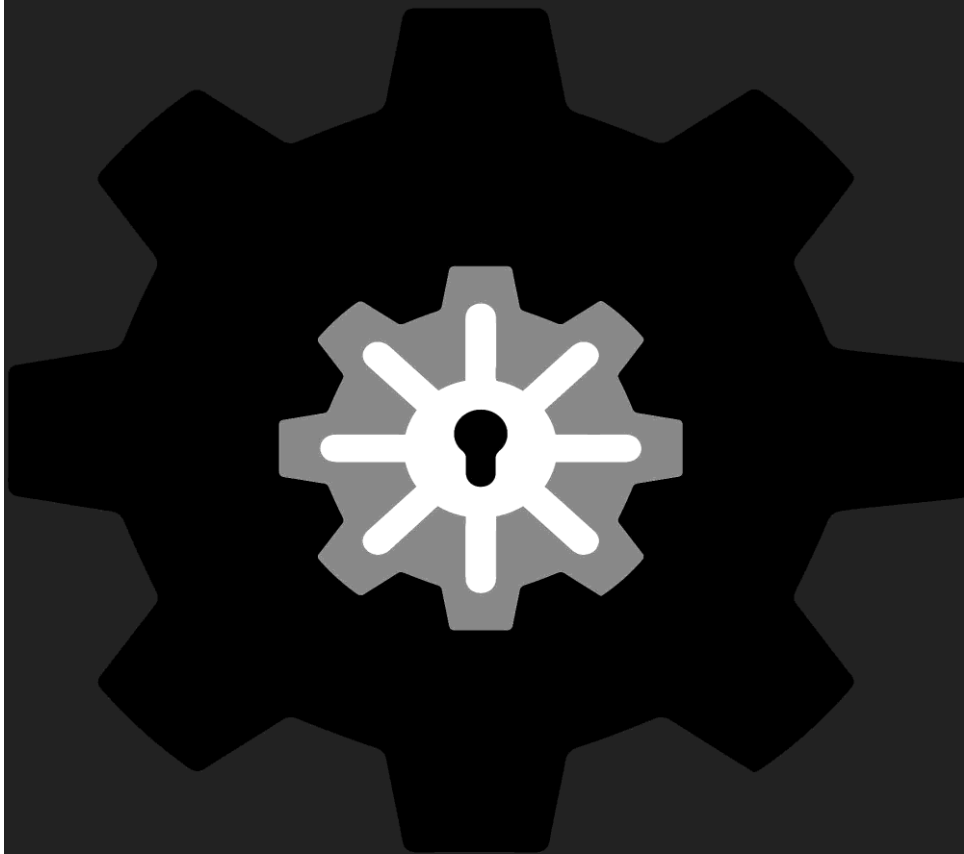


MAGIC^{SEEN}



クローザーズ

<日本語版>

(有)フェザータッチMAGIC

www.ftmagic.jp

ft@ftmagic.jp

CLOSERS

First edition published by Magicseen 2025

ISBN ISBN 978-1-9162692-7-9

©Text copyright Magicseen Magazine

Collated, edited and designed by Phil Shaw

Exclusive Japanese Edition

This Japanese Translation is authorized
by Phil Shaw

クローザーズ

<日本語版>

この日本語版は *Phil Shaw* より

日本語版としての権利を購入して

(有) フェザータッチ MAGIC にて発行するものです。

(2025/5/20)

翻訳・編集：【フェザータッチ MAGIC】

序文

キャロライン・ラヴン

読者の皆さん！

マジックを始めた頃、特に演技を持つことを考えるほど定期的にショーをするようになった頃、あればよかったと思う資料がいくつかあります。あなたが今手にしている、あるいはおそらくスクリーンで読んでいる（やったねテクノロジー！）本は、トップ3に入る。

このシリーズの最初の本『オープナーズ』は大ヒットした。私はこの作品が素晴らしく、初めて読んで以来、初心者にもプロにも薦めてきた。もしまだ手に入っていないなら、次はぜひそれを手に入れてほしい。もちろん、この『クローザーズ』に参加するよう依頼されたとき、私はとても光栄に思った！

マジックの秘密を他のマジシャンと共有することは、私たちの特殊な存続させるための基礎ですが、ここであなたが読もうとしていることは、それをはるかに超えたものです。何が必要なのか、何が効果的なのか、そしてなぜ効果的なのか、現在最も聡明なマジックの思想家たちから集められています。

マジックの本はたくさん読んだ。悪い年は15、良い年は25冊くらい読む。古今東西、たくさんのマジックを読んできた結果、マジックのジャンルごとに好きなマジック本があるだけでなく、好きなタイプのマジック本もあるようになった。同じテーマについて多くの人が書いているこの本は、私の絶対的なお気に入りだ。1つの現象について1冊丸ごと書かれた本は、その次だ。

あなたを解放する前に、このクロージング現象への深堀りに時間と金を投資することで、マジックをより真剣に取り組んだことを祝福したい。

ここではたくさんの金を見つけることができるので、金鉱探しの道具（あるいはお気に入りの椅子、飲み物、蛍光ペン、ポストイット・メモなど）を持ってきて楽しんでほしい。

キャロライン・ラヴン 2025年2月

目次

序文：キャロライン・ラヴン	3
デシベル・ビジョン - マーク・エルスドン	6
プレディカラー - ボリス・ワイルド	15
ラミネート・ライアー - エリック・スティーブンス	23
セントエルモ・オープナー - ジェームズ・ウェント	28
518451 - ポール・ゴードン	32
ムービー・メンタル - スティーブ・クック	34
クライイング（涙）・ゲーム - ウェイン・ドブソ	38
「強力なオープナーが必要！」 - キャロライン・ラヴン	40
WTF：なんてことだ！ - ベン・ウィリアムズ	42
最後の言葉 - ルカ・ヴォルペ	48
ジャックの背中 - ポール・ハラス	49
良いクローザーとは？ - ジョン・アレン	52
鋭いカミソリの刃 - ショーン・マクリー	54
52 in 1 テディベア - ウェス・イセリ	57
頭を使う - ベン・カードル	58
即興ストーリー - ウッディ アラゴン	65
サルー・モンテ - ダニエル・シャルル	71
ディーパー・リーディング - フレイザー・パーカー	74
アップステージド - アンドリュー・ディーン	78
バッフルド- ヴィニー・サグー	82
アップサイドダウン開示 - ジョン モートン	87
セカンド・チャンス - クリスチャン・グレイス	88
サイン入りカード ルーティン - クリス コングリブ	91

インポッシブル・ブランク・クローザー - C・フランシス	93
スリーカード・クローザー - ピーター・ナルディ	97
スペクティターズTNR - デイブ・ルーズリー	99
刑事コロンボ・もう一つ - ゲイリー・ジョーンズ	103
完璧なトライアンフ - ヘンリー・エバンス	105
コネクション - Kev G	107
カードカレッジ - マット・ベイカー	115
ブランク・トラスポジション - ハリー・ロブソン	121
カラー目隠し - ジャスパー・ブレイクリー	123
エクイボカード - ショーン・カーペンター	128
シカゴ・クローザー - マイケル・オブライエン	134
ランス、ジョン & デイブに感謝 - イアン・モラン	141
儀式 - ダニ・ダオルティス	147
8ボール・プロダクション - カイル・パーネル	150
ピンセット - アラン・ロリスン	152
シェフィールド・ソリューション - ロジャー・カーゾン	153
サムスクリュー・ブックテスト - フィル・スミス	156

- ★ 「インとアウト - フランシス・メノッティ」は、勝手ながら本日本語版からは削除しております。（「イン」と「アウト」のファロシャッフルを完璧に指示通りに実行できる必要があり、ガチのカードテクニクを要求されるため。）

デシベル・ヴィジョン

マーク・エルスドン

これはちょっとズルだ！実はこれは『クローザー』ではなく、個人的なハウスパーティーで使うアンコール用なんだ。つまり、彼らが見る最後の現象なんだ。

そのシナリオは完璧です。でも、実はいつでもどこでも演じられるということをお分かりいただけたと思います。アンコールの場にも最適ですが、パブや喫茶店、その他の社交の場でも演じられます。

私は2010年ごろからこのマジックを演じており、何年もの間、数え切れないほどの素人を騙してきた。

最初に、トランプを使った現象と方法の両方を説明します。それは確かにカードを使った、非常に人を騙す現象です。しかし、それは氷山の一角に過ぎません。そして、実は私はこれを実際に演じることはなく、最後に教える「アルティメットDVバージョン」しか使いません。しかし、それを先に読むと非常に混乱してしまうので、最初はカードバージョンで原理を完全に理解してから先に進んでください。

現象

演者は携帯電話の電話帳を開き、「サイキック」とだけ書かれた連絡先を開く。この連絡先は開いたままで、誰もがその番号が何であるかはっきりと見る事ができます。サイキックの名前と電話番号は、何かが起こる前に全員に知られています。

借りてシャッフルしたデッキから観客が自由に1枚選ぶ。その後、3枚、4枚、5枚、6枚、7枚、8枚、9枚、10枚.....と好きなだけカードを追加していく。とりあえず7枚追加して合計8枚とする。

観客またはランダムな参加者が、演者の携帯電話または自分の携帯電話を使って「サイキック」に電話をかけ、8枚のカードを好きな順番で伝えます。「サイキック：霊能者」はすぐにそのカードを当てます！

条件

- ・ アプリ、ウェブアプリ、NFCタグは使用しない。
- ・ 秘密の電話、コネクション、メッセージング・サービスなど、インターネット接続を必要とするものは一切ない。
- ・ これは 一人でできる演技で、秘密のアシスタントは特に不要。

- 演技中に演者に要求される技術的条件はゼロだ！
彼は秘かに自分のスマホやリモコン、アップルウォッチなどを使っているわけではない。
- 演者と「サイキック」〴〵との接触はゼロ。
- 演者のスマホである必要はありません。あなたが（あるいは彼らが）望むなら、誰でも自分の電話で「サイキック」に電話することができます。
- 演者は、カードの選択、追加カードの使用（またはその枚数！）、読み上げの順番には一切関与しません。
- 演者は、この番号に電話をかけたり、「サイキック」と話したりすることは一切ありません。純粹に、演者は演技の前も、最中も、終わった後も、「サイキック」と接触することはありません。
- 上記のように、「サイキック」な友人に手柄を立ててもらおう。あるいは、思念伝達、テレパシー、偶然の一致など、あなたの好きな前提の実験として。
- 何よりも、あなたも「サイキック」な友人も、超簡単に習得することができます。記憶力ゼロのあなたなら、この本を読んだ2分後には、この技を使えるようになっていることでしょう。

方法

—以下省略—

背景とクレジット

ドック・ヒルフォードが彼の小冊子『Cellular Mitosis：細胞分裂』の中で雄弁に語っているように（私はこれを強く推薦する）：「人の心を読むことは、距離によって制限されるべきではない。人の心を読むことは、距離によって制限。そして、電話テストが発明された。ジョン・ヒリアード・ノースからアル・ベーカー、オーヴィル・メイヤーに至るまで、誰もがこの現象の開発に携わってきたが、実はまだ発明者については議論の余地がある。」

もちろん、最も有名な電話エフェクトは「The Wizard：魔法使い」である。何十ものバージョンがあるが、私のお気に入りにはE.M.リプカが『スフィンクス』1917年11月号に発表したものだろう。52の異なる発信者名が使われている！これぞコミットメントだ。このバージョンは、『パルベアラーズ・レビュー』1975年4月

号に掲載されたKarl Fulves：カール・フルベスの「Fone Trix：フォン・トリックス」をベースにしている。

フレディカラー

ボリス・ワイルド

現象

マジシャンは、予言の入った小さな封筒をテーブルに置き、現象が終わるまで見えるところに置いておきます。

そして、ケースから普通の赤裏デッキを取り出す。カードをスプレッドし、全て違うカードでシャフルされていることを見せ、さらにシャフルします。そして、観客にデッキから1枚のカードを選んでもらいますが、カードを裏向きにするのではなく、常にカードの表が見えるようにデッキを表向きにして選んでもらいますと説明します。しかし、ハートのクイーンやスペードのエースなど、他のカードよりもよく選ばれるカードがあるため、観客のカードが好き嫌いなくランダムに選ばれることを確認したいとマジシャンは説明します。そこで、カードを数える必要があるため、高すぎず、低すぎず、簡単すぎない数字を観客に言ってもらいます。観客は例えば「12」と答えます。

マジシャンは、少しも不審な動きをすることなく、デッキのトップから12枚目まで、1枚ずつカードを表向きに配ります。このカードは脇に置かれ、マジシャンは、もし観客の数字が10、11、13、14であったなら、カードが表向きになっているので、明らかに別のカードが選ばれていただろうと見せます。

マジシャンは封筒に注目させます。観客に言います：「この封筒の中にあなたのカードが入っていたら、まだ信じられないでしょう」。封筒を開け、赤裏のカードを取り出します。表面はブランクのカードに「あなたのカード」と書かれています。マジシャンは続けて言います。「ほら、この封筒の中には、確かにあなたのカードが予言されていました!」。もちろん、観客は冗談だと思っていますが、マジシャ

ンはこう付け加えます：「本物の予言ではないとお思いでしょうが、本当です。だから、予言したカードの裏に“YOUR CARD”と書いたのです」。マジシャンは、予言するのはこのブランク面に書いたものではなく、もう片面の赤裏のデザインだと説明します。選ばれたカードは、予言のカードと同じ赤裏模様のカードです。デッキを裏向きに広げると、裏の色は全く違う51枚のカードが入っており、選ばれたカードだけが予言したカードと同じ赤裏になっています！

道具とセットアップ

—以下省略—

演技

—以下省略—

ラミネート・ライアー

エリック・スティーブンス

この現象は、私のパーラーとステージショーの主な締めくくりとして、6年間使われてきました。作り方は簡単で、手軽に演じられます。観客の注目を新しい方法で集めることができます。長い間、この現象を胸にしまっておきましたが、今こそ印刷物にする時が来たと思います。どうぞお楽しみください。

現象

ショーの冒頭で、マジシャンは「チューブ・オブ・ミステリー」と書かれた大きなポスター用チューブを観客の一人に渡し、中を覗かないように指示して保管してもらいます。ショーの終わりには、誰かがカードを思い浮かべ、チューブがステージに戻されます。チューブを開けると、ラミネート加工された切り離されていないトランプのシートが丸められて入っており、広げると、1枚のカードが恒久的に欠けていることが明らかになります。つまり、思い浮かべたカードです。

セットアップ —以下省略—

セント・エルモ・オープナー

ジェームス・ウェント

タイトルに気を取られてはいけない…。私は自分のセットを締めくくるのによくこれを使う。

現象

2つのセクションが失われ、火の試練によって発見される。

私はずっと「シカゴ・オープナー」⁽¹⁾の大ファンで、2006年頃⁽²⁾にマジックを始めたばかりの頃、ペンギンマジックのダウンロードで何年も前に習得しました。何年もの間、私のセットの定番でしたし、今でも時々オリジナルの形で演じています。しかし、他の多くのマジシャンも全く同じ方法で演じているように見えたので、私はこのマジックを以前のものと区別するために、また、結果として私のためにより個人的なものにするために、見せ方や現象を変える他の方法を検討し始めました。マイケル・ウェーバーの作品に触発され、私は観客の、最終的なより多くの投資を置くような方法で永久的に変更する方法を探求し始めた。

(1) フランク・ガリカ、フランク・エバーハート、ジム・ライアン、そしてトリックの考案者であるアル・リーチが、1950年の「リーチの最後のルック」の中で「ホット・カード・トリック」として初めてこのトリックを発表しました。

(2) 当時はとても純粋な時代だった。魔法のように毎時間ダウンロードが行われる、マジック・ダウンロード・ゴールドラッシュの直前だった。

オリジナルでは、観客のカードは裏が奇妙なカードのまま残ります。ミステリー、しかし、それは単に基本的に別のデッキのカードです。このバージョンでは、燃やされたカードは、その場で作成されたものであり、入れ替えられたものではないという印象を与えます。これを行うと、ほとんどの人がこのカードをお土産として持ち帰りたいと頼むことが分かりました。

準備

—以下省略—

クローザーズ

<日本語版>

翻訳・編集：（有）フェザータッチ MAGIC

★ 本書は、「*CLOSERS*」（2025年発行）の日本語版です。

発行元のPhil Shawとの契約により特別に
日本語版の権利（日本での独占販売権）を受け発行するものです。
（2025/5/20）

★ この解説書の全てのコンテンツ（情報・資料・画像等）の著作権は、
（有）フェザータッチMAGICが所有します。

一部、全部を問わず、無断でのコピーはもちろん、いかなる手段での
転記、転載（電子メールを含む）販売等の二次使用は一切禁止します。

販売：（有）フェザータッチMAGIC

www.FTMagic.JP

メール: FT@FTMagic.JP

